

当事者の状況について

令和元年 7 月 29 日

NPO 法人キッズドア理事長 渡辺 由美子

【学習支援施設に通う 19 歳の女性の声】

私は、現在、ここ（学習支援施設）で高卒認定試験の勉強をしています。

最初は、定時制高校に通っていましたが、授業が映画を見せるだけだったり、これでは勉強にならないと思い、2 年生の初めの頃、私立の通信制高校に編入しました。そこで単位を全て取り、もうすぐ卒業というところで、学校から学費を支払ってくださいという通知が来ました。支払額 70 万円のうち 50 万円は貸付も可能だが、20 万円はすぐに支払わなければいけないということでした。母に相談しましたが、20 万円をすぐに用意することはできず、お金を借りられる人もいないということでした。それで、学費の支払いが期限に間に合わず、除籍になり、取得した単位がすべてなくなってしまいました。通信制高校に入るときは、学費が免除される制度があったのですが、その後制度が変わったということでした。

私は母と 2 人暮らしです。母は昔病気をしてから、今も医者から働ける状態でないと言われており、生活保護を受けています。母はほとんど家にいますが、食事などは全く作れず、私が小学生のころから家事全般を行っています。

普段は普通に生活できていますが、やりたいことができないこともあります。例えば、友達と遠くに遊びに行きたいと思っても行けなかったり、やりたい習い事もできなかったりします。小さいころ習っていた水泳や書道を、もっと続けたかったという気持ちもありますが、それもできません。

高卒認定試験の勉強を始めてから 4 か月になります。ここ（学習支援施設）は母が見つけてくれました。定時制高校のときにとった 2 単位以外はすべて認定をとる必要があります。今は週 2 回通っていますが、自分一人で勉強していても教えてくれる人が欲しいと思うことがあり、もっと多く通えるといいなと思います。

高卒認定を取ったら、大学に行きたいと思っています。まだ自分が将来やりたいことが見つかりませんが、大学で勉強して、自分のやりたいことを見つきたいと思います。見つからなかったら、早く安定した仕事につきたいと思います。

今の私にとって、ここ（学習支援施設）の存在はとても大きいと思います。いろいろな情報が聞けるし、友達と時々話す以外、他人と話をする場所はここしかありません。お金がかからないというのもあります。大学の学費が免除になるという話も、自分一人だったら、何もわからないままだったと思うし、大学に行くこともあきらめていたと思います。